



人文学部の留学プログラム

◆ 英米文化特別演習I/II ◆

第1学期に準備学習を行い，夏休みにアメリカの大学の3週間の語学文化研修プログラムに参加。現地家庭でのホームステイでも言語と文化を学ぶ。2024-2025は年度はポートランド州立大学（オレゴン州）にて研修。2026年度はハワイ大学にて研修を実施。



◆ 国際文化特別演習I/II ◆

第1学期に準備学習を行い，9月より12月中旬までの14週間，レスブリッジ大学（カナダ，アルバータ州）で学術英語プログラム（EAP）に参加。ホームステイでも言語と文化を学ぶ。現地ではLanguage Partnerとの交流や様々な文化交流活動もある。





北海学園大学とレスブリッジ大学の特別な関係

北海道とカナダ・アルバータ州が1980年に姉妹提携を締結したことに続き、1981年に北海学園大学とレスブリッジ大学が交流提携を結びました。以来、全学の短期派遣（1年以内）、語学文化研修、客員教員派遣事業が行われています。人文学部学生は、全学プログラムに参加してきたほか、2014年度のカリキュラム改訂によって発足した科目「国際文化特別演習」として2015年度からレスブリッジ大学のEAP（学術英語プログラム）に毎年9名を上限として派遣されています。国際文化特別演習では、特別な関係にあるレスブリッジ大学の国際課職員のサポートや会話の練習を行うLanguage Partnerの支援も受けながら、9月からの14週間を学術英語と現地の文化を学んで過ごします。北海学園大学からは現地授業料の補助制度があります。レスブリッジ大学では、国際文化特別演習以外にも、8ヶ月の短期派遣（EAP授業＋正規授業の履修）、北海学園大学とレスブリッジ大学の両方の学位取得を目指すダブルディグリー・プログラムが実施されています。



大好きなホストファミリーや友人に出会えたことが財産

私はこの留学を通して語学力の向上だけでなく、新しい環境に挑戦する勇気と自分自身を信じて行動する力を身につけることができたと感じています。この留学での一番の財産は大好きなホストファミリーや友人に出会えたことです。この出会いは、留学が終わった今でも私の心の支えとなっており、国や文化を越えて人とつながることの大切さを改めて実感しています。今後このプログラムに参加する皆さんにも、一日一日を大切に、勇気を持ってさまざまなことに挑戦してほしいと思います。

【英米文化学科 3年 会田 美結 さん】

自分の気持ちや考えを見つめ直すきっかけに

カナダはとても多文化な国で様々な国籍の人がいます。大学内にも人種や国籍、年齢を問わず様々な人がいました。日本とは違い、年齢にとらわれず、学びたいときに学ぶという姿勢が私にとって新しい視点でした。私が留学を通して大きく変わったことは自分の意見を持つことです。留学前は人の意見に流されやすく、多数派の意見に賛同することが多くあり、自分の意見を持っていませんでした。しかし、カナダではなぜそう思ったのか、あなたはどうか聞かれる機会が多く、自分の気持ちや考えを見つめ直すきっかけになりました。この留学を通してまずは自分がどう思うかを深く考えるようになりました。

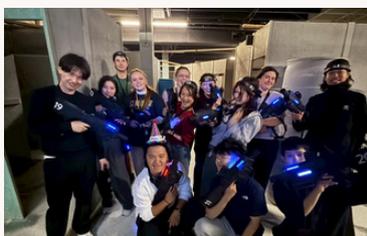
【英米文化学科 3年 堀井 桃花 さん】

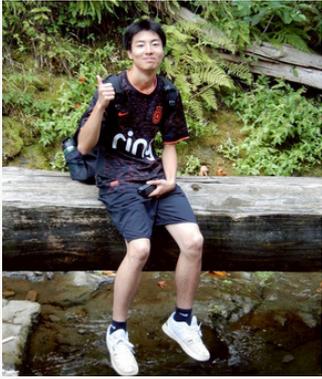


英語で学ぶことへの抵抗感を減らすことにつながった

国際文化特別演習では、大学での授業やホストファミリーや友達と過ごしていく中で、語学学習だけでなく、異文化交流や学習姿勢について多くの学びを得た。レスブリッジ大学の授業は先生が話す英語を聞き取り、教科書や配布資料を通して内容を把握することで英語で学ぶことへの抵抗感を減らすことにつながった。実際に一から英語で学ぶ環境に身を置いたことで完璧に理解できなくても学習は進められると実感した。この留学を通して得た異文化に触れながら、自分なりに学びを深めようとする態度を今後の大学での学習や将来においても活かしていきたい。

【英米文化学科 2年 小野寺 由季 さん】





次の留学への足がかりにも

現地では、自然の規模が日本とは全く異なることを実感しました。広大な自然に触れ、滝、山、川のスケールの大きさを実感しました。また、野球や女子サッカーの試合を観戦し、スポーツが地域文化として深く根付いていることも体感しました。観客同士が一体となって応援する雰囲気は印象的でした。言語がうまく通じない中でも、ホストファミリーは温かく接してくれ、快適に過ごせるよう支えてくれました。この経験を活かし、来年度の国際文化特別演習（カナダ・レスブリッジ大学）では、恥を恐れて受け身になりすぎずに積極的に現地の人々と交流していきたいと考えています。

【英米文化学科 1年 藤田 聖夢 さん】

言語の壁を超えてコミュニケーションは成り立つ

留学を通して私が最も実感したことは、言語の壁を超えてコミュニケーションは成り立つということです。もちろん英語力は重要ですが、それ以上に大切なのは「伝えたい」「理解したい」という姿勢だと感じました。相手も私の話を汲み取ろうとしてくれ、私自身も相手の言葉を理解しようと努めることで、言葉や文化の違いを越えて交流することができました。これにより、間違っただけの英語を話すことへの躊躇いや不安がなくなりました。以前は「間違えたらどうしよう」と考えて発言を控えてしまうこともありましたが、失敗は成長のために必要な過程であり、間違わなければ上達しないということを実体験として理解しました。今後は留学で学んだ表現や語彙、コミュニケーションの姿勢を活かしながら、さらに英語力を向上させたいと考えています。そして、次の留学に挑戦し、より広い世界で自分を成長させていくことを目標としています。

【英米文化学科 1年 水野谷 心美 さん】



留学・留学準備の経験は今後に活かせる

参加にあたって、1年間、アルバイトで参加費用を蓄え、自費で参加しました。留学に向けての勉強や留学費用捻出などの経験は今後の生活や就職活動に活かされるものであると思います。留学期間中は、PSUでの授業やホストファミリーとの会話に積極的に参加することで日本の学校では学べない日常会話やジェスチャー等を覚えることができました。現地で聞く英語はテンポ感、スピード、発音等に多少の違いがあり、正しい聞き取りに苦労することもありました。しかし、PSUの先生もホストファミリーも優しい方ばかりで、分からない時は何度でも聞き返すと、こちらが理解できるように言い方を変えて説明してくれました。留学はどうしてもハードルが高いイメージがありますが、PSUの先生方もしっかりとサポートしてくれるので安心して参加できました。

【英米文化学科 2年 小山内 ゆうき さん】

ポートランド・札幌観光アンバサダー活動

ポートランド市と札幌市は1959年に姉妹都市提携を結んでいます。2025年度研修では、英米文化特別演習IIの参加学生が札幌を紹介する動画を作成、リンクする二次元コードをポケットティッシュ・ケースに埋め込み、ポートランドのPSUファーマーズマーケットで配布する観光アンバサダー活動を行いました。



DAY TRIP in OREGON

ポートランド市が位置するのは雄大な自然を誇るアメリカ西海岸北部のオレゴン州です。プログラム中は、オレゴンコースト、コロンビア渓谷へのDay Tripも行われました。





広がる学びの選択肢



英米文化特別演習Ⅲ

毎年10月にプログラムが案内され、自分で渡航先を選び、春休み期間（2-3月）に英語圏の大学で語学文化研修に参加します。修了すると翌年度に卒業単位として2単位が認定されます。これまでに、英国、オーストラリア、アメリカの大学で実施実績があります。2025年実施プログラムはバンガー大学（英国）に1名の参加がありました。2026年度は、ハワイ大学、ポートランド州立大学（米国）、バンガー大学（英国）Asia Pacific University（マレーシア）を案内しました。

バンガー大学研修

英国北ウェールズの海岸沿いに位置するバンガー市にある英国立バンガー大学において、3週間の市公認プログラムに参加します。実践的な英語授業と参加者の興味・関心に応じた専門プログラムを通して、英語を実際に使用する機会が数多く提供されます。さらに、世界遺産の城や豊かな自然、歴史的建造物に囲まれた街を訪れるフィールドトリップに参加し、現地の暮らしを体験しながら、英語運用能力の向上と英国の文化や歴史への理解を深めます。



ダブル・ディグリープログラム



最短5年間で2つの大学から学士学位を取得できる制度です。2つの学位（Double Degree）を取得できるプログラムでDouble Degree Programの名称で2022年度に始まりました。北海学園大学で原則2年間、しっかり準備してからカナダ、レスブリッジ大学に2年間の長期留学、レスブリッジ大学の学位を取得、帰国して北海学園大学の学位を取得することで将来の選択肢が広がります。英語力等の条件もありますが、大学からの授業料補助制度があります。2024年度には、優秀な成績で第1号の卒業生を輩出しました。2025年度は1名が現地留学中です。

北海学園大学 全学プログラム

人文学部の学生は学部プログラムだけではなく、北海学園大学全学を対象としたプログラムにも多く参加しています。2025年度は、韓国大田大学の夏季海外研修に日本文化学科2名、英米文化学科1名の参加がありました。過去には、韓国大田大学の短期派遣（1年以内）、中国北京理工大学の短期派遣などの実績もあります。いずれも北海学園大学から渡航先授業料の補助があります。また、国際交流サロンでは留学生、大学生、併設校の高校生が英語、中国語、韓国語で交流を行うMultilingual Meetupの取り組みも行われています。

人文学部 留学プログラムの歩み

人文学部は、1993年に創設されました。英米文化特別演習（3週間語学文化研修）は、2000年度に始まり、SARS、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった3カ年を除いて実施、2025年度で第22回目となりました。これまで、カナダ、ブロック大学（オンタリオ州）、レスブリッジ大学（アルバータ州）、アメリカ、ポートランド州立大学（オレゴン州）において行われており、2026年度からは、ハワイ大学で行われます。国際文化特別演習は、2015年度に始まり、当初は、ブロック大学、レスブリッジ大学に分かれて行われました。2022年度からはレスブリッジ大学に9名を派遣しています。また、2019年度より2-3月に英語圏の大学で3-4週間の語学文化研修プログラムに参加し、修了後に単位を認定する英米文化特別演習Ⅲが始まりました。これまで、リーズ大学（英国）、ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）、ポートランド州立大学（アメリカ）、バンガー大学（英国）への参加者がいました。さらに、2022年度からは北海学園大学、レスブリッジ大学相互の学位取得を目指す、上記のダブルディグリープログラムが始まりました。今後も学びのニーズに合わせた留学プログラムを展開予定です。

